

神奈川県立岩戸養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岩戸養護学校における学校運営協議会
開催日時	令和2年7月9日(木) 9:30~12:30
開催場所	神奈川県立岩戸養護学校 会議室
出席者	神奈川県立岩戸養護学校 学校運営協議員 7名
次回開催予定日	令和2年10月20日(火)
問い合わせ先	副校長 伊藤 美加 TEL. 046-839-4502
下欄に掲載するもの	・ 議事録
審議(会議)経過	<p>I 学校長挨拶 事務局紹介</p> <p>II 委嘱状交付 委員紹介</p> <p>III 会長選出</p> <p>IV 学校運営協議会実施体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 切れ目ない支援部会→「岩戸の食育部会」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産業、高校、進路先と連携し、卒業後を見据えた食育について <p>V オンライン授業見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肢体不自由教育部門 「朝のホームルーム」 ○ 知的障害教育部門 「生活と進路(くらし)」 <p>VI 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育計画 ○ 令和元年度学校評価 ○ 令和2年度学校目標 ○ 令和2年度学部・部門・グループ <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等部知的障害教育部門 ・ 高等部肢体不自由教育部門 ・ 授業運営グループ ・ 管理運営グループ ・ キャリア推進グループ ・ 支援連携グループ

	<p>VII 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営協議会はどこの県立の学校でも行われているのか。 →県内の県立学校全てで行われている。 ○センター的機能について →地域の学校へ巡回相談し、支援教育の力を向上させていく。 ○進路という観点から今後も協力をさせていただきたい。 ○現場実習先はあるが、就労先が減っている現状、どのように職場開拓していくのが難しいと思われる。 ○中学校の進路指導について →地域にインクル校もできた。今後より一層市と県の連携が必要。 インクルーシブ教育フォーラムなどを活用し、保護者に選択の材料を与える必要がある。 ○部活動について、全員参加の形をとることは素晴らしい。 ○教育課程を一つにしたメリット・デメリットはあるか。 →開校当時は、生徒の実態から教育課程を分ける必要があったと思われる。インクルーシブ教育推進の観点で、今年度から知的障害教育部門の教育課程を一つにした。今後メリット・デメリットを検証していく。 ○今まで給食がなかったのはなぜか。 →高校の校舎を特別支援学校に転用した経緯があり、給食設備がない環境で開校した。 ○職業の農園芸班と高校の農園芸科で連携していくことができる。 ○民主的で明るい学校であってほしい。 ○食育教育に期待している。「岩戸の給食を考える会」での話し合いを活かして、今後は具体的なプランを考えてほしい。 ○公共交通機関を使って登下校している生徒のために、路線バス等の見守り隊などの形で協力したい。 ○地域の老人は手芸や陶芸等が得意な人材も多く、手伝いたいと考えている。部活動で外部講師として活用してほしい。
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第1回学校運営協議会次第 ・学校教育計画「4年間の目標」に対する取組の達成度評価総括表 ・学校教育計画（令和2年度～令和5年度） ・令和元年度学校評価報告書（実施結果） ・令和2年度学校評価報告書（目標設定） ・令和2年度岩戸養護学校不祥事ゼロプログラム ・学校要覧・コミュニティスクールリーフレット・